

| | | |
|--|---|---|
| <p>【学校の課題】 生徒・基本的な生活習慣、学習習慣の確実な定着 ・よりよい生き方をめざした実践力の育成 地域・地域や家庭の学校教育への協力体制の確立と、教育力の向上 職員・全職員が一丸となって、課題に立ち向かう姿勢</p> | <p>【学校の教育目標】 真心をもって生きる ～かしこく・うるわしく・たくましく～</p> | <p>【市の方針と重点】 ◎安心感の中で、児童生徒一人一人が「分かる」「できる」「のびる」喜びを実感できる指導を通して、生きる力を育てる。 ◎学校の教育目標を具現するため、児童生徒や地域の実態を踏まえた自立的・主体的な学校経営を全教職員で推進する。</p> |
|--|---|---|

| | | |
|--|---|--|
| <p>【教師像】～自らの生き方で生徒に示す ◎使命感や倫理観が高く、人権感覚の鋭い教師 ◎誠実に職務を遂行し、仲間へ援助できる教師 ◎保護者・生徒から信頼のある教師 ◎互いの見方・考え方を受容し、高まる教師 ◎生徒の授業観を変える授業のできる教師 ◎組織人としての行動力の身に付いた教師</p> | <p>【願う学校像】 豊かな学びを求め続ける南中学校 = 「生き方」につながる「学び」 =</p> | <p>【目指す生徒像】 ◎偏見や差別を許さず、かしこく生きる生徒 <かしこく> ◎自他のよさを見つめ、うるわしく(プライドをもって)生きる生徒 <うるわしく> ◎夢や願いの実現に向けて行動で示すことでたくましく生きる生徒 <たくましく></p> |
|--|---|--|

【学校教育目標具現のための基本理念】

南中教育に携わる私たちは、学校の教育目標に掲げられている「真心」を大切にしなければならない。「真心」は、私たちが人としてより良く生きていく上での「不滅の価値・精神」といえる。私たちは、この深い意味を持つ「真心」を自らの姿で示していくことを通して、生徒に次の様に意識させたい。

- * 理性的な判断ができてこそその「真心」(かしこく)
- * 自他のよさに目を向け仲間と協働ができてこそその「真心」(うるわしく)
- * 率先垂範ができてこそその「真心」(たくましく)

【学校経営の基本方針と経営目標】

| 重点 | 経営メッセージ | 中期目標 | 目標に向けた方策 | 評価項目・目標値 |
|----------------|--|--|---|--|
| 確かな学力定着 | ① 一人一人に確かな学力(基礎・基本)を付けます。 | ○自ら思考し、表現する生徒の育成 ○主体的・対話的で深い学びができる学習集団の育成 ○自主的な家庭学習が習慣化できている生徒の育成 | ・教科の特性に合わせ、教師の言葉がけを工夫する。 ・主体的・対話的な学びの場を位置付けた授業を行う。 ・「何が分かり、何ができるようになったのか」を授業の終末部で実感させる、まとめの場を位置付ける。 ・数学、英語では、ITを実施し、個に応じた指導援助を行う。 ・土曜授業を活用し、数学の習熟度別学習を実施する。 ・朝の活動で、火曜日に漢字テスト、その他は読書を位置付ける。 ・全教科の教科開きで、1時間の授業の進め方や家庭学習の進め方を指導し、見届けを必ず行う。 ・定期テスト前の学習会(質問会)を充実する。 | ・授業で何をやるかがよくわかり、やる気で臨んでいると回答する生徒を、95%以上にする。 ・授業では、仲間と協力して学ぶことが多いと回答する生徒を95%以上にする。 ・授業の終わりに、何が分かる(できるようになったかを振り返っていると回答する生徒を80%以上にする。 ・家庭学習で予習・復習を1時間以上する生徒を80%以上にする。 ・学力調査では、県平均を上回る。 |
| 信頼される学校づくり | ② 家庭との連携を強化し積極的に教育活動を公開します。 ③ 一人一人の命を大切にします。 | ○南中教育への信頼度の向上 ○人の命を大切にでき、自分の命を自分で守る危機意識の高揚 | ・学校便り・HP等により、学校の活動、生徒の授業の様子等をきめ細かく家庭や地域へ情報発信する。 ・保護者に深くかわかり、学校の指導姿勢を理解してもらうような教員姿勢を確立する。 ・多様な想定による命を守る訓練を実施する。 ・登下校時の指導により生徒の安全を確認する。 ・緊急時に備えて効果的連絡体制を整備する。 ・生徒の良さを一日一つは認め広める。 | ・学校評価アンケートの「学校および職員の信頼度」に関する肯定的評価を85%以上にする。 ・火災、地震、不審者侵入などの多様な想定で命を守る訓練を、年3回実施する。 ・命の大切さを1週間に1回は話す。 |
| 生き生きとした学校生活づくり | ④ 一人一人をかけがえのない存在として大切にします。 ⑤ 一人一人の夢実現を精一杯応援します。 ⑥ 一人一人の苦しみや悩みに対しては解決するまで相談に乗り込みます。 ⑦ 頑張る仲間の心や体を傷つける子には粘り強く全職員で問題解決にあたります。 | ○偏見、差別を許さず、一人一人が位置付いている集団の育成 ○学級全員の居場所があり仲間と共に向上する学級集団の育成 ○ひたむきに取り組み、最後までやりきる態度の育成 ○自分で自分の生活を高めることができる態度の育成 ○望ましい学校生活をめざし、自治的活動ができる生徒の育成 | ・朝、帰りの会で、仲間の良さを認め合う場を位置付ける。人の温もりを感じ、広める。 ・心のアンケートを全校一斉に朝行い、その日のうちに悩みのある生徒には、声をかけ、全校体制で指導を仕切る。即時性と誠意ある対応。 ・常にアンテナを高くし生徒の表情や「あゆみ」などから絶えず情報収集に努める。 ・生徒に夢や目標をもたせ、その過程を支援する。 ・学級目標の具現につなげる活動を充実させる。 ・自浄作用を機能させた生徒会活動の充実を図る。 ・毎週水曜日、主任会を実施し、生徒の情報交流と対応を検討する。 ・不登校生徒、不登校傾向の生徒を決して視野から消さない対応をする。 ・人の心ある行動を積極的に発信する。 | ・いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思えると回答する生徒を95%以上にする。 ・自分にはよいところがあると回答する生徒を80%以上にする。 ・先生は悩みや話を聞いてくれると回答する生徒を85%以上にする。 ・自分は学校で安心して楽しく生活できると回答する生徒を95%以上にする。 ・学級や班において、自分や仲間の良さを認め合うことがよくあると回答する生徒を92%以上にする。 ・1日あたりの全校欠席者数を10名以下にする。 |
| 働き方改革 | | ○元気に笑顔で生徒の前にはたてる職場環境づくり | ・勤務時間・日数の自己管理と管理職からの個別指導を行う。 ・毎週水曜日のリフレッシュディを徹底する。 | ・1ヶ月当たりの時間外勤務が平均70時間を超える教職員を0にする。 |